

【科目名】 中枢神経疾患理学療法学実習		【担当教員】 高橋明美
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0635-0-1	(メールアドレス) akemi.t@nur.ac.jp
【開講時期】 3 年次通年	【選択必修】 必修	(オフィスアワー)
【単位数】 2	【コマ数】 23	月～木 8:30～17:30 金 13:00～17:30
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行う時は、実技の行いやすい服装で挑むこと (受講のルールに関わる情報・予備知識) 配布資料、参考書等での復習をしておくこと		
【講義概要】 (目的) 理学療法の対象疾患として最も多い中枢神経疾患の理学療法を実施できるようにするために、基礎的な知識と一般的な運動療法について学ぶ。そして評価から治療までの一連の流れを理解することを目的とする。 (方法) 配布資料を使用して講義を行う。講義形式としては、講義と実習または演習を繰り返しながら進める。		
【一般教育目標(GIO)】 脳血管障害患者の障害像を理解し、適切な評価を選択および障害に即した基本的な手技が実践できることを目標とする。また、神経筋疾患の中で代表的なパーキンソン病に対する基本的な理学療法を実施できることを目標とする。		
【行動目標(SBO)】 1. 脳血管障害の病態・合併症・リスクなどを医学的観点から説明できる 2. 脳画像から基本的な脳の構造・機能について説明できる 3. 脳卒中片麻痺者の症状や動作の特徴を説明、模倣できる 4. 脳卒中片麻痺症例について評価から問題点を挙げ、基本的な手技について実施できる 5. 高次脳機能障害に対する評価の選択と治療が実施できる 6. 片麻痺者の肩の痛みに対する評価の選択と治療が実施できる 7. 片麻痺者の補装具の使用とその目的が説明できる 8. 頭部外傷の分類と臨床症状について説明できる 9. パーキンソン病の病態と臨床症状について説明できる 10. パーキンソン病に対する評価の選択と治療が実施できる		
【教科書・リザーブドブック】 ①大畑光司・他：理学療法テキスト，神経障害理学療法学 I，中山書店，2015.		
【参考書】 ①吉尾政春・他：標準理学療法学，専門分野，神経理学療法学，医学書院，2013. ②原寛美・他：脳卒中理学療法の理論と技術，メディカルビュー，2013.		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法)		

平成 26～28 年度入学者用

本学学則規程の GPA 制度に従う。

実技試験およびレポートにより総合的に評価する。

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポ ート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	10	0	90	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識					○			
	思考-推論-創造の力			○		○			
	コラボレーションとリーダー シップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢					○			

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運 営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション 中枢神経系の機能と構造	講義	(予習) 解剖学 (神経系) 予習 (復習) 脳の機能や構造について復習す ること	30 分
2	脳画像の読み方 (CT.MRI)	講義、演習	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問 点を明確にする (復習) 脳画像の見方と予後について復 習	30 分
3	脳血管障害の病態	講義、実技	(予習) 参考書等をもとに、障害像を理 解する (復習) 脳血管障害の分類について復習	30 分
4	脳血管障害に対する急性 期治療、医学的管理	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問 点を明確にする (復習) 医学的管理の目標とリスク管理 について復習	30 分
5	脳血管障害に対する各時 期別リハビリテーション の展開	講義	(予習) リハビリテーションの流れにつ いて理解する (復習) 時期別のリハビリテーションの 目的と方法を復習	30 分
6・7	脳卒中片麻痺者の運動障 害の特徴	講義・実技	(予習) 錐体路系について教科書等で理 解する (復習) 身体構造と機能の問題点を整理 する	30 分
8・9	脳卒中片麻痺に対する評 価－神経学的評価－	講義・実技	(予習) 神経学的評価について予習 (復習) 基本的評価について練習	30 分

平成 26～28 年度入学者用

10.11	脳卒中片麻痺に対する評価—姿勢・動作分析—	講義・実技	(予習) 正常な姿勢、動作分析の方法について理解 (復習) 片麻痺者の姿勢・動作について整理	30 分
12.13	脳卒中片麻痺者に対する理学療法—寝返り、起き上がり動作を中心に—	講義・実技	(予習) 正常な起居動作の方法について理解 (復習) 片麻痺者の起居動作について整理	30 分
14.15	脳卒中片麻痺者に対する理学療法—座位、立ち上がり動作を中心に—	講義・実技	(予習) 正常な座位、立ち上がりの特徴 (復習) 片麻痺者の立ち上がり動作について整理	30 分
16.17	脳卒中片麻痺者に対する理学療法—立位・歩行を中心に—	講義・実技	(予習) 正常な立位・歩行の特徴 (復習) 片麻痺者の立位・歩行について整理	30 分
18	高次脳機能障害と理学療法	講義・実技	(予習) 高次脳機能障害とは何か (復習) 評価から治療技術について整理	30 分
19	脳卒中後肩の痛みに対する理学療法	講義・実技	(予習) 肩の運動学 (復習) 痛みの原因と治療技術について整理	30 分
20	脳卒中片麻痺に対する下肢装具の選択	講義・実技	(予習) 異常歩行について (復習) 種類と効果について整理	30 分
21	頭部外傷に対する理学療法	講義・実技	(予習) 脳損傷の定義について (復習) 臨床症状と理学療法の復習	30 分
22.23	パーキンソン病 (PD) の理学療法	講義・実技	(予習) PD の病態 (復習) 評価から治療技術の整理	30 分
試験	実技試験			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。